

十 勝 岳

○ 火山活動評価：やや活発な状況

62-2 火口では 2006 年 1 月以降、噴煙活動及び火口温度に低下傾向がみられているものの、熱活動は依然としてやや活発な状況です。火山活動はやや活発な状況で経過していますので、火口周辺では引き続き注意が必要です。

○ 概況

・ 噴煙活動（図 2）

62-2 火口では、2006 年 1 月以降、噴煙高度に低下傾向が見られます。今期間、噴煙高度は概ね 100～200m で、噴煙活動はやや活発な状態で推移しました。

・ 地震活動（図 2、図 3、表 1）

火山性地震は、1 日あたり 0～16 回と少ない状態で推移し、地震活動は低調な状態で経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動（図 4、図 5）

GPS 連続観測では火山活動によると考えられる変動は観測されませんでした。

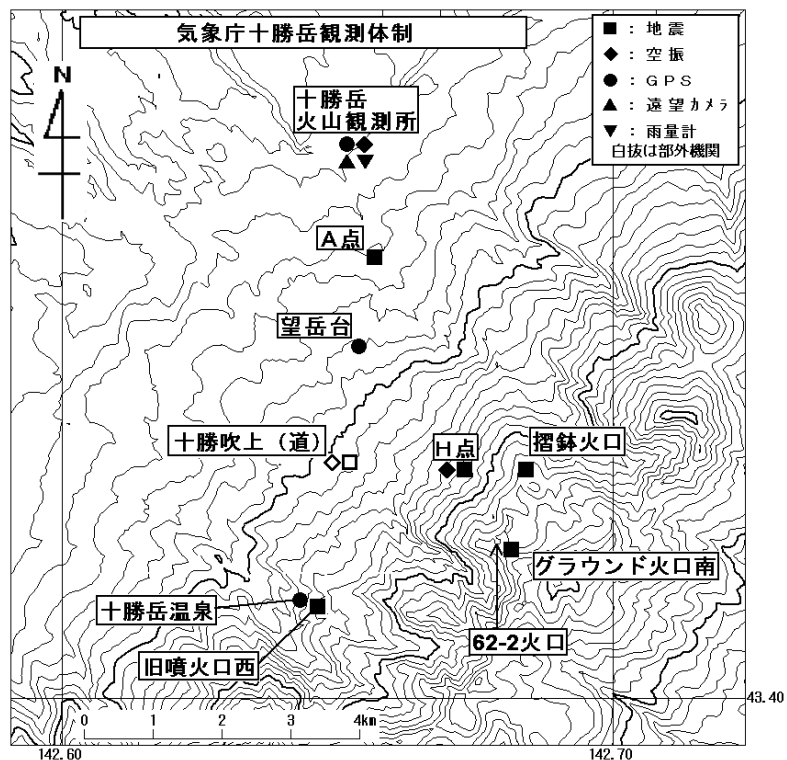


図 1 十勝岳火山観測点配置図

※資料は気象庁のほか、北海道、北海道立地質研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平 17 総使、第 503 号）。

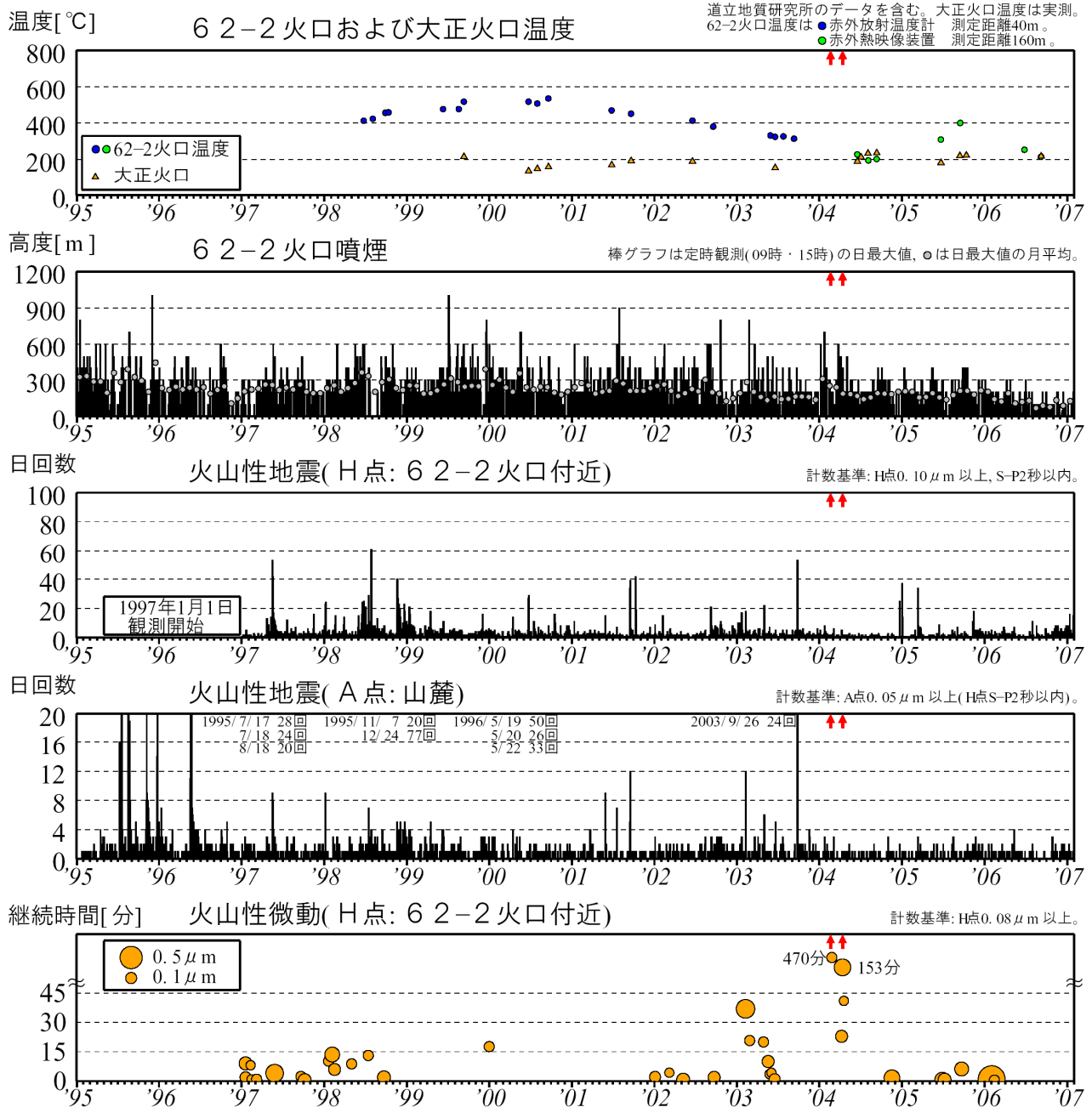


図 2※ 十勝岳 最近の火山活動経過図（1995 年 1 月～2007 年 1 月） ↑印はごく小規模な噴火

- ・ 62-2 火口の噴煙活動はやや活発な状態が続いていますが、2006 年 1 月以降低下傾向が見られます。
- ・ 地震活動は 1999 年後半から比較的静穏に経過しています。火山性微動は 2006 年 2 月 15 日以降発生していません。

表 1 十勝岳 地震・微動の月回数（H 点：山頂付近〔図 3 TOKH〕 A 点：山麓点〔図 3 TOKA〕）

2006 年～2007 年	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月
H 点地震回数	44	48	37	32	16	25	22	19	32	83	76	90
A 点地震回数	8	10	4	12	3	6	2	2	4	6	8	9
H 点微動回数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

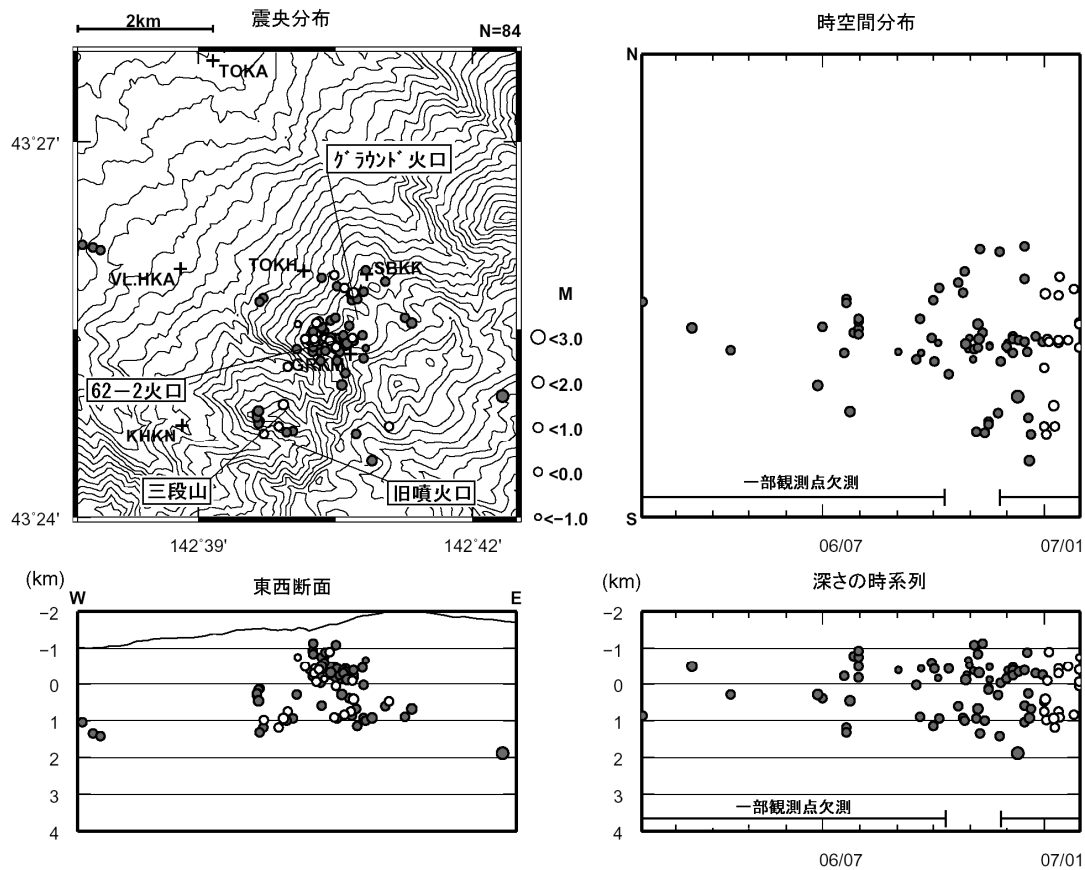


図 3※ 十勝岳の震源分布図（2006 年 2 月 1 日～2007 年 1 月 31 日、+は地震観測点）

2006 年 11 月 22 日以降、一部観測点欠測のため震源決定能力が低下しています。

○印は今期間（2007 年 1 月）の震源

●印は前期間までの 11 ヶ月間（2006 年 2 月～2006 年 12 月）の震源

- ・前期間までの震源はグラウンド火口周辺の浅い所（山頂から深さ 1～3km 付近）に集中しているほか、三段山～旧噴火口周辺の浅い所にも分布しています。今期間に求まった震源も、おおむねこの領域内に分布しています。

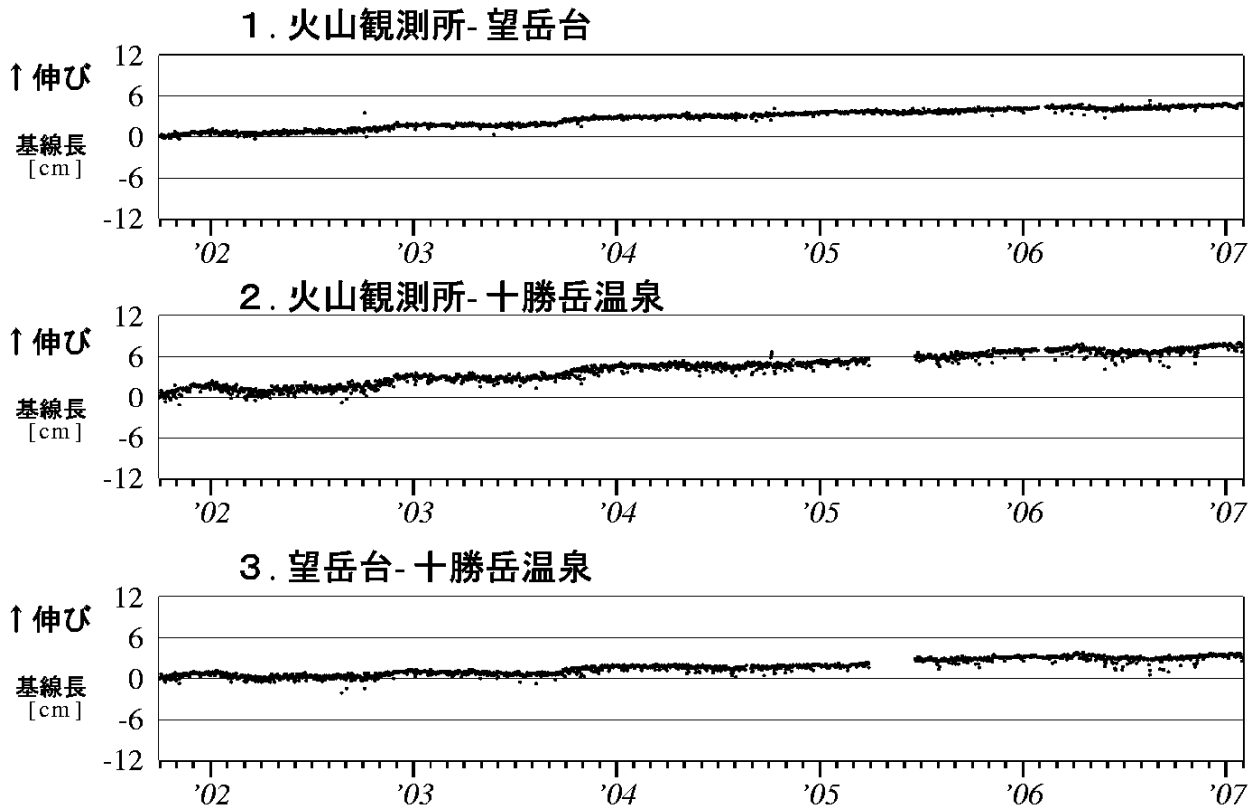


図 4 十勝岳 GPS 連続観測による基線長変化（2001 年 10 月～2007 年 1 月）

グラフの空白部分は欠測

図 4 の 1～3 は、図 5 の GPS 基線①～③に対応しています。

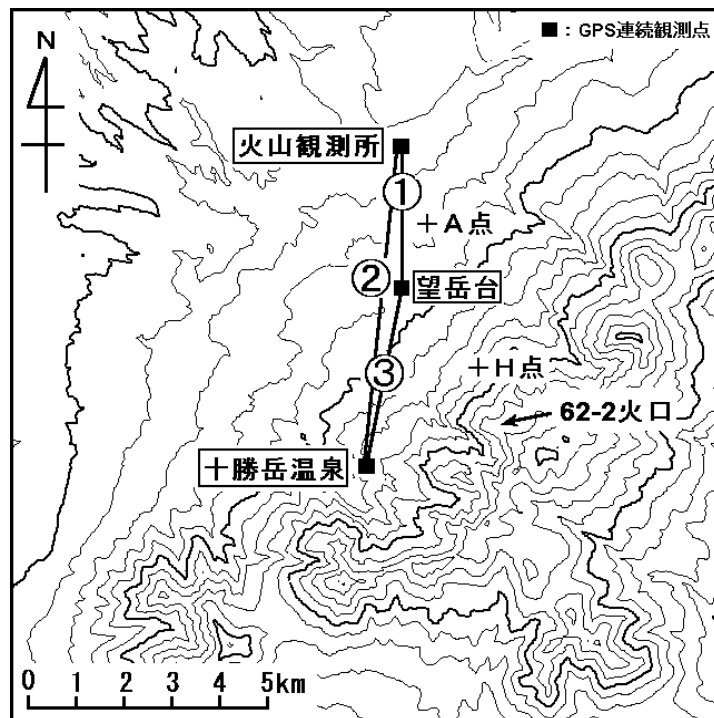


図 5 十勝岳 GPS 観測点配置図